

第 1 号議案

第 8 期 事業報告書

令和 6 年 10 月 1 日から令和 7 年 9 月 30 日まで

NPO 法人あったかいいねっと

・ 理事会の開催

第 8 期第 1 回理事会

開催日時 令和 6 年 12 月 1 日（日）16:30～17:25

- 議 題
1. 第 7 期事業報告及び予算決算の承認について
 2. 第 8 期事業計画（案）及び活動予算（案）の承認について
 3. 役員（理事）の変更について

第 8 期第 2 回理事会

開催日時 令和 6 年 12 月 1 日（日）18:25～18:30

- 議 題
1. 理事長の互選について

・ 第 9 回通常総会

開催日時 令和 6 年 12 月 1 日（日） 17:30～18:20

出席者数 13 名（出席正会員 6 名、WEB 出席 1 名、委任状出席 6 名）

- 議 題
1. 第 7 期事業報告及び予算決算の承認について
 2. 第 8 期事業計画（案）及び活動予算（案）の承認について
 3. 役員（理事）の変更について

第 8 期は、デイサービス事業では、週 5 営業が定着し介護職員のライフワークバランスもとれました。職員研修として現場職員と業務改善の先進施設での研修に参加し、その職員自ら整理整頓などを始め現場が動き出し、更にアドバイザーを招き介護ソフトの使い方の見直し等も行い、具体的に業務改善の第一歩を行うことが出来ました。また、利用者様の得意を活かした商品開発では、農作物、アクセサリ等小物やケーキを作り商品化し移動販売を始めました。障がい枠の利用者様にとっても、工賃につながるお仕事チャレンジ・地域とつながり活動する場としてやりがいを見出され

ています。

経営については、デイサービスの利用収益はやや減りましたが、前記商品やカフェ部門で始めたテイクアウト惣菜などにより売上高増収となりました。相談支援報酬はゆっくり増加。寄付は減収。NPO全体としては業務効率向上により人件費が抑制され収益は改善しました。

第6期に取得した特例認定NPOについては、特例期間が3年であるため努力中です。

また、共生型の取り組みの紹介など講演依頼を受け他市においてお話しする機会も頂き高評価を得て、新聞報道もありました。

1. 事業の成果

【1. 地域共生社会の実現に向けた事業】

① 共生型デイサービス事業について（8年目）

令和7年9月末現在の利用者数は、30歳代から101歳ご利用者様31名です。100歳の方はお二人、90歳代の方が増えてきておられます。うち、介護保険利用者様は、新規7名、入所や死去による利用終了者9名、現利用者合計22名。障がい福祉利用者様は、新規3名、利用終了者4名、現利用者合計9名でした。

ア 介護保険利用：介護度別にみると、要介護2の方が4割、要介護1～3が9割弱を占めています。総合事業対象者はおられず、介護予防の方は1名のみ。要介護4の方1名、要介護5の方1名です。ご利用者様それぞれにあった支援を提供し各々ADL維持等でき、喜びの声がご本人様ご家族様から寄せられています。

イ 障がい福祉利用：区分2～4のご利用者様が9名いらっしゃいます。「工賃が出せる生活介護事業所」を目指し、かつ個々の特性・得意に合わせて活動を広げ自己肯定感が高まり喜びも増え、製菓・農産物・アクセサリー等の商品の売上高が伸び、結果利用者様への還元が出来ています。

ウ 障がい児福祉利用：休止中

エ 共生型デイサービスの視察・体験（交流）研修：年4回県外参加者6名実施しました。共生型のあり方に対し感動され「トップマネジメントの実践ですね」とお褒めの言葉も頂きました。

○年間の利用者数については下記表参照。

延べ年間利用者数	7 期	8 期	増減
介護保険対象者数	2,182	2,062	△120
障がい者対象者数	1,227	1,047	△180
障がい児対象者数	0	0	0
合 計	3,409	3,109	△300

想定外に入所施設への移行が多く、新規利用者がその数を下回り、結果延べ利用者は前年度よりもかなり減少しました。

② 相談支援事業について

令和五年 5 月に立ち上げ、現在までの利用者数は 15 名で、現在は 13 名がご利用されています。就労・生活介護サービスの変更等、利用者様のご希望や精神症状に応じて環境を整えることに取り組むことができました。また、困難事例に対しましては、基幹センターからのアドバイス、サービスの支援者間での情報共有、会議等を行ない、ご利用者様が希望されている生活環境を目指し取り組みました。

【2. 安心して過ごせる居場所づくり事業】

① とき時カフェ

第 7 期における試行事業経て、第 8 期は、惣菜のテイクアウト、移動販売を開始し、デイサービス利用者様、ご家族様をはじめ、カフェ利用者も増え、販売実績があがりました。

② フリースペースの貸出し

貸出数は数件でした。地域の中で生きづらさを抱える方のフォローや共生社会に関わる活動を行っている団体や個人などが利用されました。

【3. 自然（命の循環）を感じる活動に関する事業】

あったかいねっとを支える柱として、農産物を育て販売しました。農作物の栽培や収穫といった作業を通して、「命を感じる活動」をして

います。地域に開いて、一般参加できる「さつまいもほり体験会」に、放課後等デイサービスの子どもたちをご招待し交流をしました。

また、あったかファームの野菜なやあったか工房などの商品を地域イベント(マルシェ・浜田市福祉フェスティバル)へ出張販売しました。平日にはデイの活動として移動販売を今期から開始しました。養護学校などの母校を訪問することで参加者のモチベーションが上がり、地域とのつながりも持っています。今期、移動販売をしたことで前期売上高を上回ることができました。来期の活動資金も得られました。

【4. 育ちあう、広げる活動に関する事業】

① 共生型交流サロンについて

ア 定例会・イベント

共生型交流サロン活動として、定期的な開催とまでは至らないまでも、前期よりは多く開催することができました。

共生型デイサービスの環境整備ボランティアでは、個人や高齢者グループにも参加いただきました。

今後も、ボランティアを受け入れながら、地域との交流を図っていきます。

島根県社会貢献基金テーマ事業にエントリーし、一部採択され、これから NPO ネットワーク作りや地域活動を企画実行します。

イ 人材育成事業

スタッフ及び利用者向けの接遇研修、DV 予防研修等外部講師を招き実施しました。職員向けに他事業所と共同主催で介護研修も企画参加しました。

【5. その他目的を達成するために必要な事業】

① あったか工房の事業

昨年始めた、ドライフラワーをレジンで加工したアクセサリーなどが上手に作れるようになり、販売に至りました。

② 目の前の笑顔プロジェクト

- ・生活困窮に陥っている方への救援物資手配など実施
- ・ご縁のある障がいを持つアーティスト様方の作品を預かり商品化しマルシェなどで紹介、代行販売

③ 傾聴相談事業

引き続き、障がいを持つご夫婦の悩み事など丁寧に聞かせて頂き、安心や新たな視点を見出していただくきっかけを提供できました。

④ 整備事業

木・畑や花壇の整備といった共生型施設全般の環境整備をボランティアの力を借りながら実施しました。

2 事業の実施に関する事項

事業名	事業内容	実施予定の日時 場所、従事者の 予定人数	受益対象者の 範囲 及び予定人数	事業費の 予算額 (単位：千円)
【1. 地域共生社会の実現に向けた事業】				
共生型デイサービス 「お天気いいね」	介護保険、障がい福祉サービス事業のデイサービス 地域密着通所介護 共生型生活介護など	月～金： 8：55～16：05	要支援 1・2 要介護 1～5 区分2～6 定員1日 15名	収益 ：36,249 費用 ：30,639
相談支援事業所 「雨のち晴れ」	障がいのある方が自立した日常生活又は社会生活を営むための相談支援	月～金 9：00～16：00 随時	障がい(児)者やその家族 (9/1現在登録者13名)	収益：773 費用：482
【2. 安心して過ごせる場所づくり事業】				
とき時 カフェ	・デイサービスの昼食提供 ・地域食堂(お子様、孤食者、貧困者など)	デイサービス営業時間 (予約制) イベントの前 保健所許可のあ	・デイサービス利用者及び見学者 ・イベント参加者	収益：239 費用：199

	・お菓子作り ・テイクアウト	る厨房 調理員、他2名		
フリース ペース	フリースペー スの貸出	支援ハウス 和室・2階	デイ利用者・生 活困窮者・孤食 の人・子ども・ 地域の人	収益:0 費用:0
【3. 自然（命の循環）を感じる活動に関する事業】				
あったか ファーム	畑作業、収穫、 調理、販売など	畑 随時 浜田市熱田町112 9-2 スタッフ2名	生きづらさを 抱えている人	収益:276 費用:158
【4. 育ちあう、ひろげる活動に関する事業】				
共生型 交流サロン	・定例会 ・イベント	・支援ハウス ・あったかファーム	・地域の方々 ・生きづらさを 抱えている人	収益:10 費用:3
人材育成	共生型人材育 成	随時、体験ボラン ティアとして受 け入れ	地域共生社会 に興味のある 方	収益:0 費用:0
【5. その他目的を達成するために必要な事業】				
あったか工房	「もの作り」で 就労に向けた 手作業の体験。 製品として販 売し作成者に 還元	適宜	・生きづらさを 抱えている人 ・利用者	収益:154 費用:40

目の前の笑顔 のために	地域共生社会 を実現するた めにまだ地域 にないサービ ス、支援活動	随時 必要な場所	生きづらさを 抱えている人	収益:0 費用:0
法人活動 ※助成金、寄付金などについては記載なし				収益 : 39,817 費用 : 31,523

※詳細については第8期決算報告書参照

3 その他事業 実施なし